

会 見 年 月 日	令和5年8月29日（火曜日）		
担 当 課	(1) (2)に関すること	健康福祉部保健センター	（担当者名：日笠）
	(3)に関すること	産業振興部商工課	（担当者名：宍戸）
問 い 合 わ せ 先	保健センター		
	TEL：0791-46-8701	FAX：0791-46-8705	
	商工課		
	TEL：0791-43-6838	（内線：2259）	FAX：0791-46-3400

赤穂市と明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する連携協定に基づく事業実施及び贈呈式（電話音声明瞭器・私の地元応援募金目録）の開催について

### 1 専用タブレットを用いた市政情報の発信

連携協定に基づき、明治安田生命保険相互会社の営業職員が、訪問活動の中で、専用タブレットを用いて、健康増進、子育て、介護・認知症に関する市政情報を案内し、市民の皆様の健康づくりや暮らしをサポートします。

・開 始 日：令和5年8月30日（水）

### 2 電話音声明瞭器「明治安田発案のサウンドアーチ 一声の架け橋」の贈呈

この機器は、電話の音が聴こえづらい方にとって聴きやすい音声に変換するものです。

- ・寄 贈 数：1台
- ・設置場所：赤穂市地域包括支援センター  
（住所：赤穂市中広267番地 赤穂市総合福祉会館内）
- ・設 置 日：令和5年8月30日（水）

### 3 赤穂ふるさとづくり寄付金への「私の地元応援募金」目録贈呈

「地域の元気プロジェクト」の一環として、従業員募金と会社拠出寄付のマッチングによる「私の地元応援募金」により、赤穂ふるさと寄付金616,000円が贈呈されます。

明治安田生命保険相互会社における  
行政サービス情報の提供活動を開始します。

令和3年3月30日に締結した健康増進に関する連携協定に基づき、赤穂市と明治安田生命保険相互会社が協働することで、さらなる市民サービスの向上に取り組みます。  
同社は、「地元の元気プロジェクト」として、地方自治体との連携・協働により、地域住民の健康増進や地域活性化に取り組んでいます。

1 取組内容：行政サービス情報の提供活動

2 取組開始：令和5年8月30日（水曜）～

3 行政サービスの対象：

「健康増進」「子育て支援」「介護・認知症対策」に関する内容

4 内容

明治安田生命のMYリンクコーディネーター（営業職員）による訪問活動の中で、専用のタブレットを活用し、「健康増進」「子育て支援」「介護・認知症対策」の3分野に関する赤穂市の行政サービス情報を、一人ひとりのニーズに合わせて直接ご案内することで、市民の皆さまの健康づくりや暮らしをサポートする取組みです。

また、本活動を通してお聞きした市民の皆さまの声を、今後の行政サービスにつなげていきます。

【別添】行政サービスの仕組み（明治安田生命より提供）

5 基本データ

令和3年3月30日 健康増進に関する連携協定を締結

【連携項目】

1. 健康づくりに関すること
2. がん対策に関すること
3. 健康経営に関すること
4. そのほか、市民の健康増進に関すること

本件に関する問い合わせ先

明治安田生命保険相互会社 姫路支社 市場統括部 担当：海老原・山本  
電話：079-224-1623

# 【行政サービス（アウトリーチ型情報提供）に関して】

弊社営業職員が、住民のみなさまの生活課題を確認し、必要とする行政サービスを直接ご案内する、弊社の強みを活かしたスキームです。

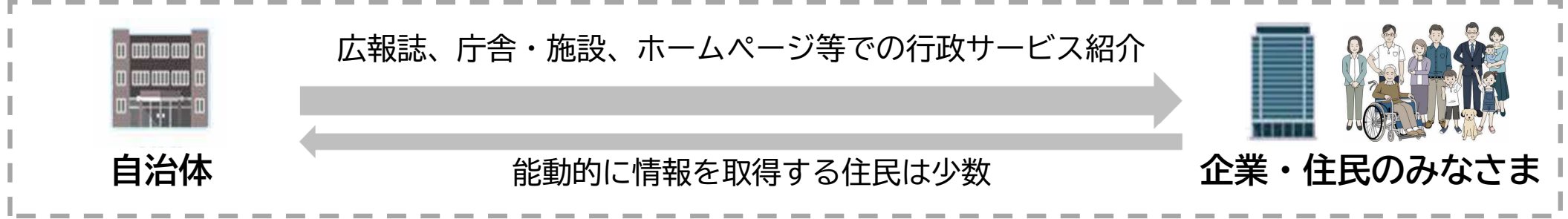
## 情報提供活動のスキーム アウトリーチ型情報提供活動

### 社会的処方考えに基づく取組み

英国で取組みが進む「社会的処方」(※)の考え方を参考に、弊社営業職員が人とまちをつなぐ担い手として、地域住民や企業のみなさまの生活課題を一つひとつ確認し、最適な地域資源（行政サービス等）をお届けすることで、社会的孤立等の社会的課題の解決の一助となれるよう取り組んでまいりたいと考えています。

※ 医師の医学的処方に加えて、患者等の健康やwellbeingの向上等を目的に、地域の活動やサービス等につなげること

点線内は弊社が認識している現在の自治体の情報提供スキーム



# 【3分野の情報提供する行政サービスに関して】



住民のみなさま

- ・日々の活動のなかで生活課題の解決の一助となる行政サービスをご案内
- ・行政サービスに関するヒアリングを実施



MYリンク  
コーディネーター  
(弊社営業職員)

【情報提供の方法】  
SDGsへの貢献を目的に、弊社タブレット端末によるペーパーレスでの活動を想定しております。



行政サービス (1分野最大20情報を想定)

健康  
増進

子育て

介護・  
認知症

## 情報提供する 行政サービス

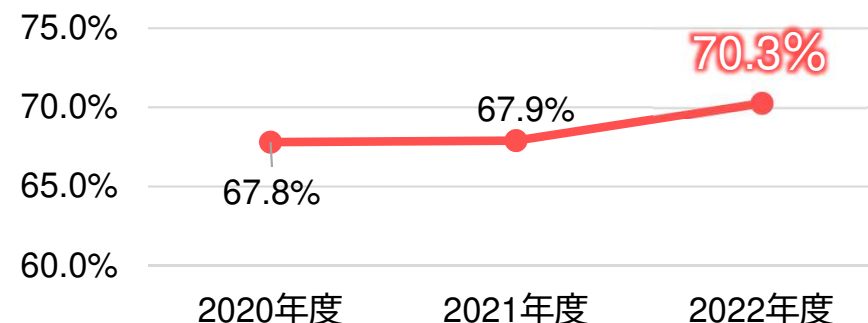
弊社ビジネスとの親和性が高い3分野での情報提供活動を想定しております。

営業活動と明確に区分し、弊社の強みである住民のみなさまに寄り添った活動を展開したいと考えております。

### 【弊社営業職員のお客さま満足度】

弊社は、毎年ご加入者向けに満足度調査（5段階評価）を実施しております。

2022年度の調査で、営業職員に「満足・やや満足」とお答えいただいたお客さまは過去最高値となりました。



## 「実績報告会」の様子



※プライバシーに配慮し、一部加工しております。

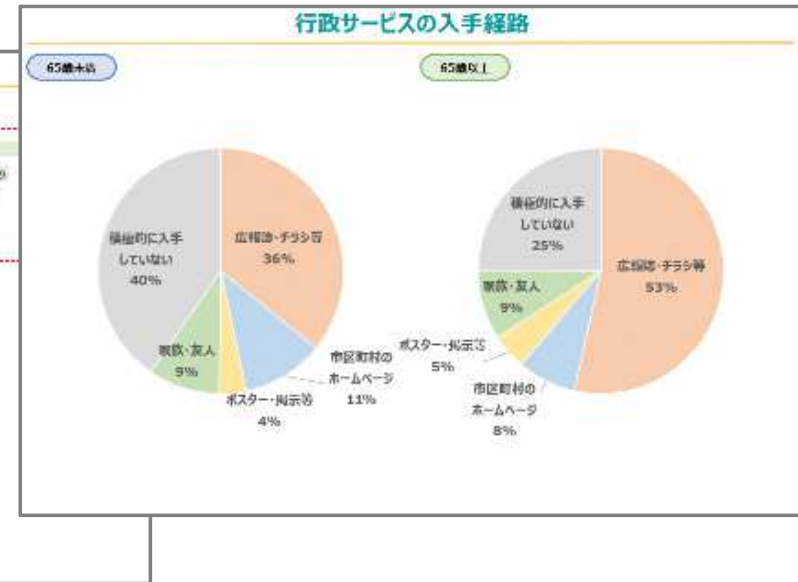
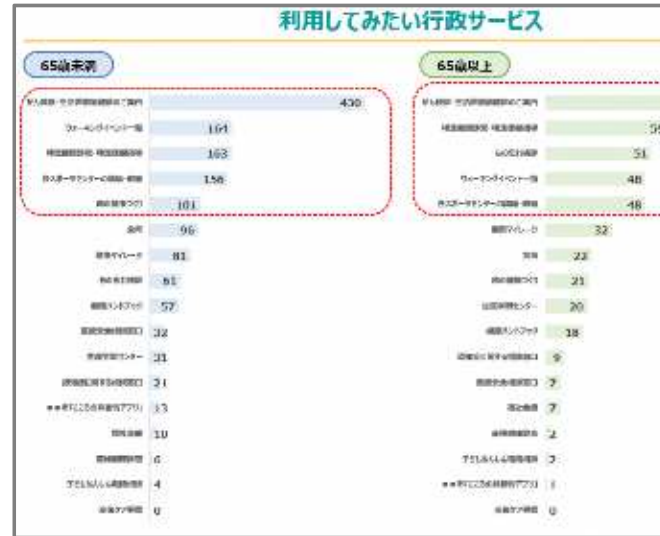
## 「実績報告会」における自治体のみなさまの声

自治体では困難なアウトリーチ型の活動で、幅広い年齢層の住民に情報が届くのはありがたい。

周知に力を入れていた行政サービスの認知率が低いことがわかり、周知方法を再考する機会になった。

各担当課のみなさまにお集まりいただき、ご報告させていただき、ご要望に応じて開催いたします。

## フィードバック資料



弊社営業職員が、行政サービス情報提供時に住民のみなさまにお聞きした内容を集計してご報告いたします。

# 活動ツールのご紹介 **STEP 1** ～住民のみなさまの生活課題確認～

右の資料を活用し、  
「健康増進」「子育て」「介護・認知症」の3つから、  
ご関心のある分野を確認します。



情報提供活動のイメージ

## 「明治安田生命のMYリンクコーディネーター」が 健康づくりや豊かな暮らしをサポートします

当社のMYリンクコーディネーターが、お一人おひとりのニーズにあわせた行政サービス等をご案内いたします。  
まずは、興味があること、お困りごとを教えてください。

次の3つのうち、興味がある・悩みがある分野を教えてください

- 健康増進     子育て     介護・認知症

以下についてあてはまることがあれば☑ください

- |        |  |
|--------|--|
| 健康増進   | <input type="checkbox"/> 最近、健康診断や検診を受けていない   |
|        | <input type="checkbox"/> 病気の予防法や健康的な習慣を習得したい |
|        | <input type="checkbox"/> イベント・サークル等の情報を知りたい  |
|        | <input type="checkbox"/> 専門家に聞いてみたい、相談したい    |
| 子育て    | <input type="checkbox"/> 子育て関連のイベントや教室を知りたい  |
|        | <input type="checkbox"/> 子どもの預け先や、サポートを知りたい  |
|        | <input type="checkbox"/> 悩みの相談先や手当、健康情報を知りたい |
| 介護・認知症 | <input type="checkbox"/> 妊娠・出産、赤ちゃん関連の情報がほしい |
|        | <input type="checkbox"/> 体力維持や、自分や家族の介護が気がかり |
|        | <input type="checkbox"/> 日常生活の困りごとを手助けしてほしい  |
|        | <input type="checkbox"/> 自分や家族のもの忘れ・認知症が気になる |
|        | <input type="checkbox"/> 地域と関わりを持ち生活を充実させたい  |

## 活動ツールのご紹介 **STEP 2** ～行政サービスのご案内～

弊社タブレット端末に、ホームページ掲載等の行政サービス情報を収録し、住民のみなさまのご関心のある内容をご紹介します。

The image shows two tablets displaying a mobile application interface. The left tablet shows a list of services, and the right tablet shows the detailed view of the selected service.

**Tablet 1 (Left):** Displays a list of services under the heading "みんなのまちの情報ガイド" (Information Guide for Everyone's Town). The list includes:

- 1 マタニティクラス・パパママクラス
- 2 産後ケア事業
- 3 のびのび育児相談
- 4 すくすく赤ちゃん教室
- 5 母子健康手帳の交付

At the bottom, it says "行政サービス等の最新情報は自治体のホームページ等でご確認ください" (Please check the latest information on administrative services on the local government's homepage, etc.).

**Tablet 2 (Right):** Displays the detailed view of the selected service "1 マタニティクラス・パパママクラス". The details include:

- 概要** (Overview): 安心して、出産・育児にのぞんでいただくための教室です。経産婦さんもぜひご参加ください (A classroom for you to feel at ease with childbirth and childcare. Please participate if you are a multiparous woman.)
- 日時** (Date/Time): ●●年●●月●●日 ●●時～
- 場所** (Location): ●●市保健福祉センター ふれあい館
- 費用** (Fee): 無料 (Free)
- 問い合わせ先** (Contact): ●●市健康づくり課 すこやか親子係 TEL: ●●●●
- URL**: <http://www.××××>

At the bottom, it says "行政サービス等の最新情報は自治体のホームページ等でご確認ください" (Please check the latest information on administrative services on the local government's homepage, etc.).

**Annotations:**

- A green box with an arrow pointing to the selected item in the list on the left tablet says "ホームページの内容を掲載" (Content from the homepage is posted).
- A green box with an arrow pointing to the detailed view on the right tablet says "選択すると詳細を表示" (Selecting it displays details).
- A green box on the right tablet says "スマートフォンでの情報読み込みも可能" (Information can also be loaded on a smartphone).

明治安田生命は、企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」の実現と、人々の「健康づくり」、豊かな「まちづくり」をはじめ、持続可能な社会づくりへの貢献をめざしています

効果検証の監修者からのコメント



成本 迅氏

京都府立医科大学 大学院医学研究科  
精神機能病態学 教授

スマートフォンやパソコンの操作に慣れていない高齢者にとって、電話は必要不可欠なコミュニケーションの手段です。しかし、電話の声は聴き取りづらく、相手の口の動きや表情もわからないため、理解が難しくなりがちです。サウンドアーチが社会との架け橋となって、孤独や孤立の防止に資することを期待しています。



飯干 紀代子氏

志学館大学 人間関係学部 教授  
公認心理師、臨床心理士、  
言語聴覚士

日本は長寿国である一方、耳の聴こえに支障がある80歳以上の人は男性84%、女性73%にものぼります。人や社会とつながりをもって生きていくことは、契約や交渉はもちろん、人生の幸せにとってたいへん重要です。聴こえを確実にサポートするサウンドアーチで、高齢の方の生活の質が格段に上がることを期待します。

製品製造・アフターサービス

「サウンドアーチ」は、radius (ラディウス) 株式会社の製品です。  
万一、故障等の不具合があった場合は、保証期間中\*は、無償で修理いたします。  
\*保証期間経過後の修理は有償となります。保証期間は当社納品から3年間です。個別の保証期間は保証書でご確認ください。

radius

- 名称 radius (ラディウス) 株式会社
- 所在地 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階
- 設立 1996年3月25日
- 代表者 香田 進 (代表取締役)

【明治安田生命がめざす姿】 **ひとに健康を、まちに元気を。**

明治安田生命は、企業ビジョンに「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」を掲げ、その実現に向け、ご高齢の方をはじめ、お客さまのお手続き不便を解消し、誰ひとり取り残されることなく安心して契約の締結・維持管理を行なっていただくための取組みを「みんなにやさしい保険アクセス\*」として推進しています。また、2030年にめざす姿を「ひとに健康を、まちに元気を。」最も身近なリーディング生保へ」と定め、お客さま一人ひとりに寄り添ったアフターフォローと地域に密着した活動を通じた「社会的価値」の向上と、100年先も続く安定した経営による「経済的価値」の向上をめざしています。

\*「みんなにやさしい保険アクセス」の詳細はこちら



# SOUND ARCH

明治安田発案 『サウンドアーチ = 声の架け橋 =』のご案内

「聴こえ」に悩みをもっている方の「声の架け橋」となり、豊かな生活をサポートする

「サウンドアーチ = 声の架け橋 =」は、明治安田生命のシニア職員が、ご高齢の方に寄り添った「人に一番やさしい」サービスを追求するなかで発案し、誕生した「電話音声明瞭器」です。架電者側の電話に設置することで、「聴こえ」に悩む方とのスムーズなコミュニケーションを実現します。特に、ご高齢の方へのアウトバウンドコールを実施する電話機への設置が最適です。

社会から必要とされる価値を創造し、地域の発展に貢献する  
取組みの一環として、当社と連携協定を締結している  
全国の地方自治体さまに、順次、提供させていただきます





# “聴こえ”に悩む方を「社会的孤立」から救いたい

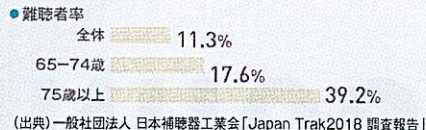
明治安田生命のシニア職員が、ご高齢の方に寄り添ったサービスを追求するなかで「サウンドアーチ」は誕生しました



01

## 「サウンドアーチ」の開発経緯

日本人の9人に1人が「聴こえ」に悩みを抱えており、特に75歳以上では約4割にのぼるといわれています。特にご高齢の方にとって、電話は重要なコミュニケーション手段ですが、「聴こえ」に悩みを抱えている方は、電話の利用を敬遠する傾向にあり、社会的孤立を経て認知症に至る危険性が指摘されています。「サウンドアーチ」は、当社シニア職員がご高齢の方に寄り添ったサービスを追求するなかで、日ごろから行なう地域貢献活動(敬老会との交流)を通じて、「聴こえ」に悩む方を社会的孤立から救いたい」という想いから発案し、メーカーとともに6年をかけて製品化したものです。



02

## 「サウンドアーチ」の特長

特長① 確かな技術\*で話し手の音声を明瞭化

低い音程でも”こもらず明瞭に”。高い音程でも”キンキンしない”自然なままに明瞭に聴こえる効果を実現しました。

\*性別等により異なる周波数をリアルタイムに解析し、各周波数を聴こえやすさへの影響度に応じて増幅する音声明瞭化回路「ニートプロセッサ」(国際特許取得)を搭載しています。また、「サウンドアーチ」の「送話者の音声を難聴の方でも聴きとりやすい音声に変換し電話回線に通過」メカニズムは、国内特許を取得しています。

特長② “聴こえ”に悩む方に寄り添った電話応対を実現

話し手側の電話機(受話器とケーブルでつながっている固定電話)に設置することで、“聴こえ”に悩む方とのスムーズなコミュニケーションを実現します。ご高齢の方に寄り添った電話応対が可能となるほか、通話時間の短縮にもつながります。

特長③ 設置が簡単、コンパクト設計

コンパクトで場所をとらず、付属のケーブルで受話器と電話機の間に接続するだけで、簡単に設置できます。機体本体のスイッチで、簡単にON/OFFの切り替えが可能です。



03

## 当社における「サウンドアーチ」の活用

当社は、企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」の実現に向け、ご高齢の方をはじめ、さまざまなお客さまのお手続きの不便を解消する取組みを「みんなにやさしい保険アクセス」として推進しています。こうした取組みの一環として、ご高齢の方向け専用ダイヤル(インバウンド)、電話によるアフターフォロー窓口(アウトバウンド)に、約100台を導入し、実際のお客さまとの通話において活用しています。



(参考) 地方自治体における設置例

ご高齢の方との通話機会が多い電話機への設置が最適です

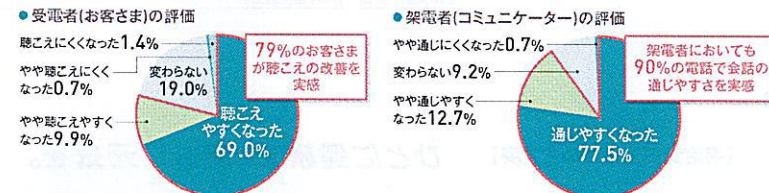
- 高齢者支援、介護・福祉の部署(アウトバウンドコール)
- 認知症・介護に関する相談窓口(インバウンドコール) 等



04

## コミュニケーションセンターにおける効果検証結果

当社のコミュニケーションセンターからお客さまに電話をかけた際に、「サウンドアーチ」を使用した結果、お客さまの約8割が「聴こえやすくなった」、コミュニケーションの約9割が「会話が通じやすくなった」と実感しています。



[実施時期]2022年11月~2023年1月 [実施方法]有識者による監修のもと、アウトバウンドコールにおいて、65歳以上かつ通話のなかで「聞き返しがあった」等、「聴こえ」に悩みを抱えている可能性のあるお客さま142名を対象に、本人承諾のもと実施。受電者・架電者の双方が、「サウンドアーチ」の使用による聴こえやすさや会話の通じやすさの改善効果を5段階で評価

## 「お客さま」からの声



効果検証にご協力いただいたお客さまから、性能を評価する声をいただいています

普段は補聴器をしている。今はしていないがものすごくよく聴こえる。

高齢者も多いだろうから、こういうのはいいですね。

驚いた。雑音が少ない、すごくよく聴こえる。よい声です。

2023年3月17日

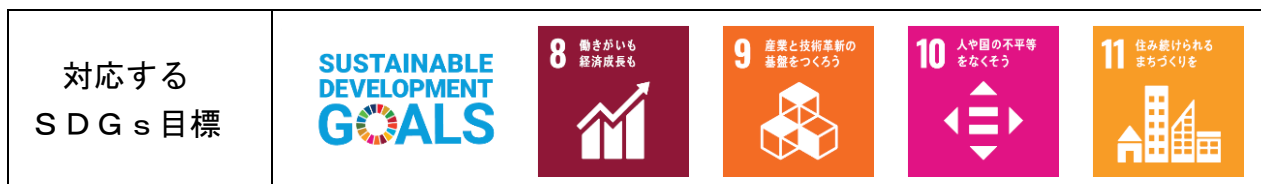
当社発案の電話音声明瞭器「サウンドアーチ」の  
コミュニケーションセンターへの導入・地方自治体への寄贈について  
～金融包摂の推進、社会課題の解決への貢献を通じて社会的価値を創出～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、電話の声を聴こえに悩む方にとって聴きやすい音声に変換する機器「明治安田発案のサウンドアーチ 一声の架け橋」（以下「サウンドアーチ」）を、ご高齢のお客さま専用のお問い合わせ窓口等に設置するとともに、当社と連携協定を締結する全国の地方自治体に寄贈してまいります。

当社は、企業ビジョン「信頼を得て選ばれ続ける、人に一番やさしい生命保険会社」の実現に向け、ご高齢の方をはじめ、さまざまな特性をお持ちのお客さまのご不便を解消する取組みを「みんなにやさしい保険アクセス」（金融包摂の取組み）<sup>（注1）</sup>として推進しています。また、お客さまを大切にする想いを継承するなかで、これまで、「MY長寿ご契約点検制度」をはじめ、ご高齢のお客さまに「確かな安心」をお届けするさまざまなサービス<sup>（注2）</sup>を提供してきました。「サウンドアーチ」は、こうしたサービスの運営に携わったシニア職員が、ご高齢のお客さまに寄り添ったアフターフォローサービスを追求するなかで発案し、製品化された電話音声明瞭器です。

当社では、2023年1月から、「みんなにやさしい保険アクセス」の取組みの一環として、ご高齢のお客さま専用のお問い合わせ窓口をはじめ、コミュニケーションセンターに、「サウンドアーチ」を約100台設置し、聴こえに悩むお客さまにいっそう寄り添った電話対応を実践しています。また、聴こえに悩む方の社会的孤立という社会課題の解決に貢献するため、地域社会との絆を紡ぐ取組みとして、2023年4月以降、当社と連携協定を締結している全国の地方自治体に、順次、寄贈していく予定です。

当社は今後とも、お客さまが健康で安心してらせるよう、生涯にわたって支え続けるとともに、一人ひとりの健康づくり、地域社会の発展を応援し、相互扶助の輪を広げることを通じ、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献してまいります。



（注1）詳細は2022年4月28日リリース「『みんなにやさしい保険アクセス』（金融包摂の取組み）の展開について」参照

URL：[https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2022/pdf/20220428\\_02.pdf](https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2022/pdf/20220428_02.pdf)

（注2）詳細は当社ホームページ「ご高齢のご加入者さまへのアフターフォロー充実の取組みについて」参照

URL：<https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/topics/mychouju/>

【ご照会先】  
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

## 「明治安田発案のサウンドアーチ 一声の架け橋」の概要

「明治安田発案のサウンドアーチ 一声の架け橋（以下「サウンドアーチ）」は、当社のシニア職員が発案し、製品化された電話音声明瞭器です。製品名称には、発案者の「聴こえに悩みをもっている方の“声の架け橋”となり、豊かな生活をサポートしたい」との思いが込められています。

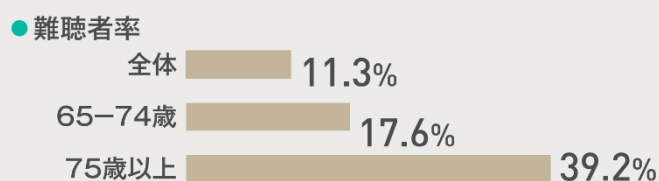


### 1

#### 開発経緯

日本人の9人に1人が聴こえに悩みを抱えており、特に75歳以上では約4割にのぼるといわれています。特にご高齢の方にとって、電話は重要なコミュニケーション手段ですが、聴こえに悩みを抱えている方は、電話の利用を敬遠する傾向にあり、社会的孤立を経て認知症に至る危険性が指摘<sup>(注3)</sup>されています。

「サウンドアーチ」は、ご高齢のお客さま向けのアフターフォロー制度「MY長寿ご契約点検制度」の運営に携わったシニア職員が、当社の地域貢献活動（敬老会との交流）で伺った「聴こえに悩む方は電話にも出ず、社会との交流がなくなる傾向にある」との声から着想を得て、「聴こえに悩むお客さまに寄り添いたい」との思いから、電話に設置する音声明瞭器のアイデアを発案し、開発を依頼したメーカーとともに約6年間の試行錯誤を経て、製品化されたものです。



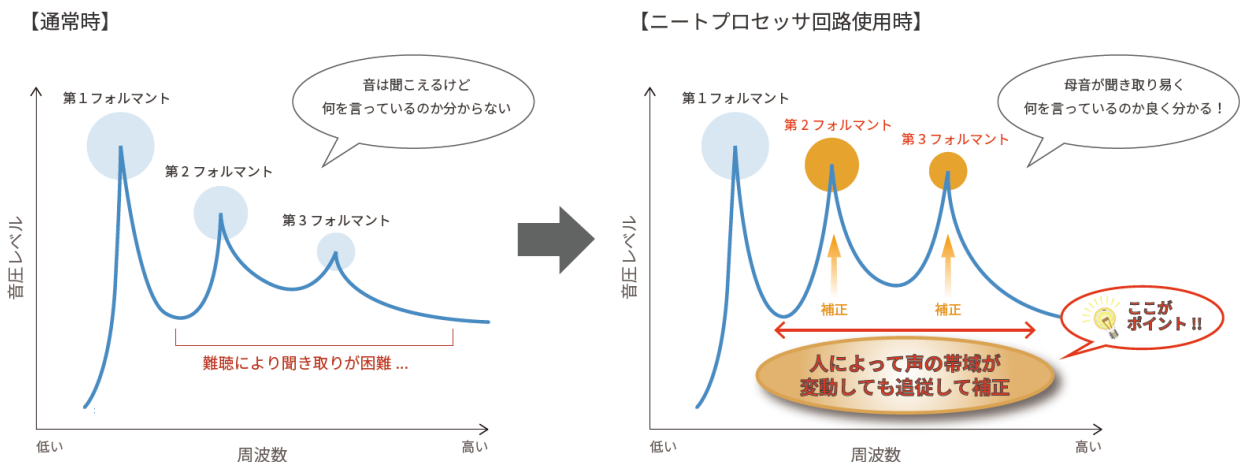
(出典)一般社団法人 日本補聴器工業会「Japan Trak2018 調査報告」

(注3) 2020年、医学誌ランセットが「認知症の40%は予防可能な12の要因により起こると考えられる。そのなかで最も大きな危険因子は難聴」と発表。難聴のためにコミュニケーションがうまくいかなくなると、人との会話を避けようになることで、抑うつ状態に陥ったり、社会的に孤立したりする危険性もあり、それらもまた、認知症の危険因子として考えられている  
(一般社団法人 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページより)

## ① 確かな技術で話し手の音声を明瞭化

国際特許の音声明瞭化回路「ニートプロセッサ」<sup>(注4)</sup>を搭載し、低い音程でも「こもらず明瞭に」、高い音程でも「キンキンしない」、自然なまま明瞭に聴こえる効果を実現しました。また、「送話者の音声を難聴者が聴きやすい音声に変換して電話回線に通す」音声処理器の仕組みとして国内特許を取得しています。

## 【国際特許「ニートプロセッサ」の効果】



(注4) 性別等により異なる周波数をリアルタイムに解析し、各周波数を聴こえやすさへの影響度に応じて増幅する音声明瞭化回路

## ② 聴こえに悩む方に寄り添った電話対応を実現

話し手側の電話機（受話器とケーブルでつながっている固定電話）に設置することで、聴こえに悩む方とのスムーズなコミュニケーションを実現します。ご高齢の方に寄り添った電話対応が可能となるほか、通話時間の短縮にもつながります。

## ③ 設置が簡単、コンパクト設計

コンパクトで場所をとらず、付属のケーブルで受話器と電話機の間接続するだけで、簡単に設置できます。機体本体のスイッチで、簡単にON/OFFの切り替えが可能です。

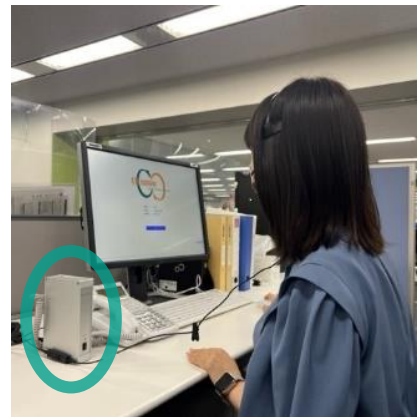


## 3

## コミュニケーションセンターへの設置

当社は、ご高齢の方をはじめ、さまざまな特性をお持ちのお客さまのご不便を解消する取組みを「みんなにやさしい保険アクセス」として推進しています。

こうした取組みの一環として、コミュニケーションセンターに設置しているご高齢のお客さま専用のお問い合わせ窓口（インバウンド）、電話によるアフターフォロー窓口（アウトバウンド）に、約100台を導入し、実際のお客さまとの通話において活用しています。

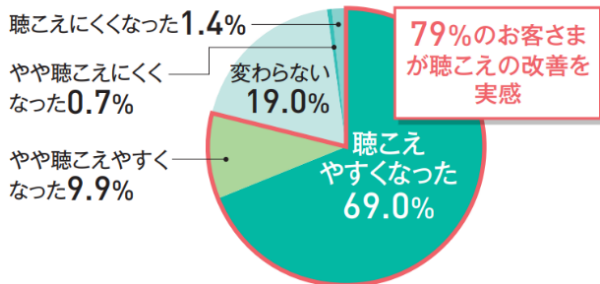


## 4

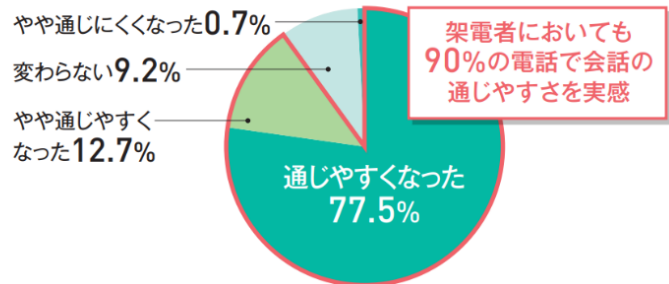
コミュニケーションセンターにおける効果検証<sup>(注5)</sup> 結果

有識者による監修のもと、コミュニケーションセンターにおいて、聴こえに悩みを抱えている可能性のあるお客さまを対象に、「サウンドアーチ」の使用による聴こえの改善効果を確認した結果、お客さまの約8割が「聴こえやすくなった」、コミュニケーターの約9割が「会話が通じやすくなった」と回答しており、実用面における有用性があるものと評価いただいています。

## ● 受電者(お客さま)の評価



## ● 架電者(コミュニケーター)の評価



(注5) 実施時期：2022年11月～2023年1月。実施方法：当社コミュニケーションセンターからのアウトバウンドコールにおいて、65歳以上かつ通話のなかで「聞き返しがあつた」等、聴こえに悩みを抱えている可能性のあるお客さま142名を対象に、本人承諾のもと実施。受電者・架電者の双方が、「サウンドアーチ」の使用による聴こえやすさや会話の通じやすさの改善効果を5段階で評価

## 「お客さま」からの声



効果検証にご協力いただいたお客さまから、性能を評価する声をいただいています



普段は補聴器をしている。今はしていないがものすごくよく聴こえる。

高齢者も多いだろうから、こういうのはいいですね。

驚いた。雑音が少なく、すごくよく聴こえる。よい声です。

## 成本 迅 氏

京都府立医科大学 大学院医学研究科 精神機能病態学 教授



スマートフォンやパソコンの操作に慣れていない高齢者にとって、電話は必要不可欠なコミュニケーションの手段です。しかし、電話の声は聴き取りづらく、相手の口の動きや表情もわからないため、理解が難しくなりがちです。「サウンドアーチ」が社会との架け橋となって、孤独や孤立の防止に資することを期待しています。

## 飯干 紀代子 氏

志學館大学 人間関係学部 教授、公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士



日本は長寿国である一方、耳の聴こえに支障がある80歳以上の人は男性84%、女性73%にもものぼります。人や社会とつながりをもって生きていくことは、契約や交渉はもちろん、人生の幸せにとってたいへん重要です。聴こえを確実にサポートする「サウンドアーチ」で、高齢の方の生活の質が格段に上がることを期待します。

企業名	radius（ラディウス）株式会社
代表者	香田 進（代表取締役）
所在地	東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階
設立	1996年3月25日
公式HP	<a href="https://www.radius.co.jp/">https://www.radius.co.jp/</a>

「明治安田発案のサウンドアーチ 一声の架け橋」は、当社職員の発案に基づき、radius（ラディウス）株式会社が製造している当社向け商品です。お客さま等への販売は行なっておりません。

以 上



ひとに健康を、まちに元気を。

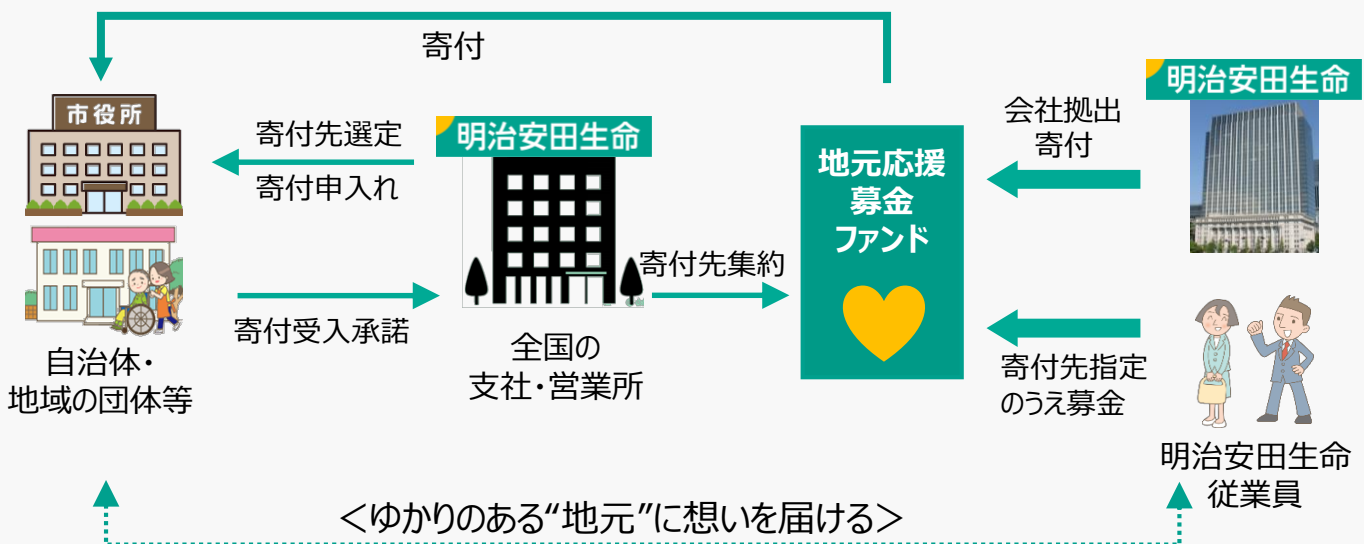
## 明治安田生命は「私の地元応援募金」で より豊かな地域社会づくりを応援します！

明治安田生命は、地域に密着した最も身近な生命保険会社をめざし、地域のみなさまの暮らし・健康を豊かにするための取組みを全国各地で行なう「**地元の元気プロジェクト**」を展開しています。コロナ禍において、これまで以上に人と人とのつながりが希薄化することが懸念される中、さまざまな形で「社会的なつながり」をご提供していきたいと考えています。

『**今日も誰かとつながる地域社会を。**』実現するためには、自治体や地域の団体との協働が必要不可欠なことから、各種取組みの一助としていただくべく従業員募金と会社拠出寄付のマッチングによる地元支援「**私の地元応援募金**」を実施することといたしました。全国の支社等が選定した自治体や団体に対し、明治安田生命グループの全従業員が、居住地や出身地等のゆかりのある地元の団体等に募金し、会社からの寄付を上乗せしてご支援するものです。

それぞれの地域に寄り添い、離れた地元にも想いをお届けする寄付活動です。

### 従業員と会社のマッチングによる地元支援



明治安田生命

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

☎03-3283-8111 (代表)

<https://www.meijiyasuda.co.jp/>